

福井市内49地区社協と市社協をつなぐ情報紙

むすんで ひらいて

◆福井市社協のホームページからバック
ナンバーをご覧ください

発行：福井市地区社協連絡協議会
〒910-0018 福井市田原1丁目13-6 フェニックス・プラザ1階
(社会福祉法人 福井市社会福祉協議会内)
TEL 0776-26-1853 FAX 0776-26-9109

第58号

発行日
令和7年9月

福祉委員スキルアップ研修会 開催

テーマ

「地域の中で認知症や高齢者を やさしく見守るために」

～専門職・家族の声から～



6月8日(日)、市内の福祉委員を対象として、スキルアップ研修会を開催しました。当日は78名が参加し、講師には福井中央北包括支援センター認知症コーディネーターの見鳥昌代氏と、介護者家族の本多良彦氏を迎え、専門職と、家族の立場からそれぞれお話いただきました。

見鳥氏から、「認知症を自分事として備え、新しい認知症観に転換してほしい」というお話がありました。新しい認知症観とは、「認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になっても一人ひとりができること、やりたいことがあり、希望をもって自分らしく地域で暮らし続けることができる」という考え方です。認知症の方々や家族を見守る上では、一人ひとりの「大丈夫かな?」という気づきが重要であるといった視点を学びました。

また、本多氏からは、「認知症の早期発見は、職場や家族がキープポイントであり、少しでもおかしいなと感じたときに、本人の家族に伝えてほしい」というお話がありました。加えて、自分事として、家族や近所同士、また専門機関など、地域全体で関わることや、地域での居場所づくりの大切さについて語られました。

参加者からは、「介護者家族の話聞き、認知症がより自分事として感じられた」、「認知症や高齢者の方をやさしく見守る心構えを学べた」という声が多く聞かれ、日頃の見守り活動を振り返り、認知症観を改め、今後の福祉委員活動について考えを深めることができました。

今後も、福祉委員の方とも情報を共有し、認知症になっても、地域の一員として役割を持ち、活躍できる地域づくりを推進してまいります。